

製品名: DOCK8 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85516**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 239 kDa; Observed MW: 239 kDa

抗原情報

遺伝子名	DOCK8
別名	MRD2; ZIR8; HEL-205
遺伝子 ID	81704.0
SwissProt ID	Q8NF50
免疫原	ヒト DOCK8 の組み換えタンパク質

背景

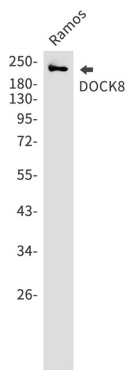
グアニンヌクレオチド交換因子（GEF）は、結合 GDP を遊離 GTP と交換することで、低分子量 GTPase CDC42 を特異的に活性化し

ます (PubMed:28028151、PubMed:22461490)。免疫応答においては、間質性樹状細胞 (DC) の先端膜において CDC42 を局所的に活性化することにより、DC の移動に必要です。ケモカイン刺激に対する CD4+ T 細胞の遊走には、T 細胞の先端膜における CDC42 の活性化を促進することにより必要です (PubMed:28028151)。微小管形成中心 (MTOC) の分極を制御し、細胞殺傷時に CCDC88B を介した MTOC への溶解性顆粒輸送を制御することで、NK 細胞の細胞傷害に関与していると考えられます (PubMed:25762780)。

研究分野

-

画像データ



DOCK8 抗体を使用した Ramos 溶解物中の DOCK8 のウェスタンブロット分析。